

薬史レター

(薬史学会通信改題)

日本薬史学会

JSHP



第 48 号

2008 年 3 月

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 (財)学会誌刊行センター内 日本薬史学会事務局
TEL (03)3817-5821 FAX (03)3817-5830 URL <http://yakushi.umin.jp/>

2008(平成 20)年度日本薬史学会 総会・講演会案内

下記により、新年度総会・講演会を開催いたします。

日 時：2008(平成 20)年 4 月 19 日(土)

場 所：東京都文京区本郷・東京大学構内

総 会：14 時 00 分～ 東大薬学研究科総合研究棟講堂

公開講演：15 時 30 分～

「DDS の歴史とクスリの効き方・効かせ方」

寺田 弘氏(元日本薬学会会頭・東京理科大学教授)

「海外および国内製薬産業の将来展望」

青木 初夫氏(日本製薬工業会会長)

懇 親 会：17 時 30 分～ ¥4,000 東大・山上会館

日本薬史学会 2008 年会(大阪)のお知らせ

研究発表演題の募集

日 時：平成 20 年 11 月 15 日(土) 9:00～

年 会 長：播磨 章一(近畿大学 薬学総合研究所)

会 場：近畿大学 11 月ホール小ホール

主 催：日本薬史学会

共 催：近畿大学 薬学総合研究所

協 賛：大阪府薬剤師会、大阪市薬剤師会、東大阪市薬剤師会、日本薬学会関西支部

研究発表：口頭発表(1 演題 20 分：発表・質疑応答)

申込方法：FAX または E-mail で下記の必要事項を記入し年会事務局へお送りください。

1. FAX の場合

「日本薬史学会年会研究発表申込」とプリント印字した A4 用紙にプリント印字で、下記(1)、(2)および(3)の順でご記入ください。

- (1) 研究発表演題
- (2) 研究者全員の氏名(発表者に○)と所属
- (3) 連絡先・住所・氏名・電話・FAX・E-mail

2. E-mail の場合

添付形式にせず、メール本文に上記(1)、(2)および(3)の順で必要事項を記入し送信ください。なお、発表者は発表申込時点で日本薬史学会会員に限ります。

発表演題申込の締切：平成 20 年 7 月 20 日(必着)

発表要旨提出の締切：平成 20 年 9 月 16 日(必着)

年会参加申込：年会参加申込等については、後日ご案内します。

年会事務局：連絡先；近畿大学 薬学総合研究所 担当；山下 多美子

〒577-8502 東大阪市小若江 3 丁目 4 番 1 号

電話：06-6721-2332(内線 5001) ダイヤルイン：06-6730-5880

FAX：06-6730-3577

E-mail：tamiko.yamashita@itp.kindai.ac.jp

会 費：①日本薬史学会年会；会員；¥3,000 非会員；¥5,000 学生；¥1,000

②近畿大学 カフェテリア“ノーベンバー”での懇親会

会員および非会員；¥5,000 学生；¥2,000

以 上

日本薬学会第 128 年会(横浜)

日 時：2008(平成 20)3 月 26 日(水)～28 日(金)。3 月 27 日、ポスターセッションの演題

場 所：パシフィコ横浜

社会と薬学

・牛治療書三種を通して見る江戸末期の薬と社会

○林 優樹⁷、澤田 采佳⁴、小松 直登³、西野 ゆり⁶、木村 壮太郎²、菰田 綾佳²、森田 祐基⁵、西野 正雄⁷、
宮本 如奈¹、高倉 弘士⁸、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸立命館大学大学院(社)、⁹長崎大学(薬))

薬 史 学

・星一と宮様の交際

○三澤 美和¹(¹星薬大・薬理)

・日向薬(くすり)事始め(その 5)一日向出身の適塾生一

○山本 郁男¹、宇佐見 則行¹、井本 真澄¹、岸 信行²(¹九州保福大薬、²延岡北小路調剤薬局)

・華岡青洲麻沸散(通仙散)の再検証

○山田 健二¹、佐藤 弘人¹、福留 正明¹、伊奈 郊二¹(¹東京薬大薬)

・理礼氏薬物学(第三卷)にみる薬物

○小松 直登³、木村 壮太郎²、澤田 采佳⁴、森田 祐基⁵、林 優樹⁷、西野 ゆり⁶、菰田 綾佳²、西野 正雄⁷、
宮本 如奈¹、高倉 弘士⁸、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、

⁵ 科学技術学園高校、⁶ 府立長野高校、⁷ 府立富田林高校、⁸ 長崎大学(薬)、⁹ 立命館大学大学院(社)

・理礼氏薬物学(第四卷)にみる薬物

○菰田 綾佳²、木村 壮太郎²、澤田 采佳⁴、小松 直登³、林 優樹⁷、森田 祐基⁵、西野 ゆり⁶、西野 正雄⁷、
宮本 如奈¹、高倉 弘士⁸、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸立命館大学大学院(社)、⁹長崎大学(薬))

・理礼氏薬物学(第五卷)にみる薬物

○澤田 采佳⁴、小松 直登³、木村 壮太郎²、林 優樹⁷、森田 祐基⁵、西野 ゆり⁶、西野 正雄⁷、菰田 綾佳²、
宮本 如奈¹、高倉 弘士⁸、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸立命館大学大学院(社)、⁹長崎大学(薬))

・理礼氏薬物学(第六卷)にみる薬物

○西野 正雄⁷、澤田 采佳⁴、小松 直登³、木村 壮太郎²、西野 ゆり⁶、森田 祐基⁵、林 優樹⁷、菰田 綾佳²、
宮本 如奈¹、高倉 弘士⁸、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸立命館大学大学院(社)、⁹長崎大学(薬))

・理礼氏薬物学(第七卷)にみる薬物

○木村 壮太郎²、小松 直登³、澤田 采佳⁴、西野 ゆり⁶、林 優樹⁷、森田 祐基⁵、西野 正雄⁷、菰田 綾佳²、
高倉 弘士⁸、宮本 如奈¹、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸立命館大学大学院(社)、⁹長崎大学(薬))

・理礼氏薬物学(第八卷)にみる薬物

○西野 ゆり⁶、澤田 采佳⁴、小松 直登³、木村 壮太郎²、森田 祐基⁵、林 優樹⁷、菰田 綾佳²、西野 正雄⁷、
宮本 如奈¹、高倉 弘士⁸、畠山 有里⁹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸立命館大学大学院(社)、⁹長崎大学(薬))

・理礼氏薬物学(第九卷)にみる薬物

○高倉 弘士⁷、澤田 采佳⁴、小松 直登³、西野 ゆり⁵、木村 壮太郎²、菰田 綾佳²、森田 祐基⁹、林 優樹⁶、
西野 正雄⁶、宮本 如奈¹、畠山 有里⁸(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵府立長野高校、⁶府立富田林高校、⁷立命館大学大学院(社)、⁸長崎大学(薬)、⁹科学技術学園高校)

・理礼氏薬物学(第十卷)にみる薬物

○宮本 如奈¹、木村 壮太郎²、小松 直登³、澤田 采佳⁴、森田 祐基⁹、西野 ゆり⁶、林 優樹⁷、西野 正雄⁸、
菰田 綾佳⁹、高倉 弘士¹⁰、畠山 有里¹¹(¹同志社大学(文)、²府立藤井寺高校、³府立東住吉高校、⁴府立西浦高校、
⁵科学技術学園高校、⁶府立長野高校、⁷府立富田林高校、⁸府立富田林高校、⁹府立藤井寺高校、¹⁰立命館大学大学院(社)、
¹¹長崎大学(薬))

・「牛病新書」の薬から解ったこと

○白井 一城¹(¹北陸大薬)

・「呉普本草」の構成

○塩原 仁子¹(¹昭和大学薬)

・奇怪、明治に作られた自己治療マニュアル、民間治療通俗薬剤方の薬について

○中屋 征士郎¹、白井 一城¹(¹北陸大薬)

・朝鮮薬学会と「朝鮮薬学会雑誌」に関して

○牛久保 裕子¹、千葉 義彦¹、三澤 美和¹(¹星薬大・薬理)

・昭和の日本漫画「サザエさん」に登場する薬学的事項

○五位野 政彦¹(¹東京海道病院薬)

・日本でのランダム化比較試験における封筒法の興亡

○小山 紘一¹、津谷 喜一郎²(¹東大薬、²東大院薬)

日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・ 日本歯科医史学会・日本看護歴史学会 合同 12 月例会報告

小倉 豊、末廣 雅也

平成 19 年 12 月 8 日、順天堂大学医学部 9 号館において、上記五学会の合同例会が開催された。今回、日本看護歴史学会の参加により、生命(いのち)あるものを救い、かつ病める心身を癒すことを究極の目的とする五つの学問分野と職能にある者が結成した科学史研究の学会の Federation Meeting としての体制が整ったと言えよう。したがって参加者は例年より多く百名近かったのではなかったかと記憶している。

各学会が一題ずつ担当して下記五演題の発表と質疑応答が活発に行われた。

1. 明治 28 年に翻訳出版されたビルロートの看護書について…………… 平尾 真智子
2. 薬事衛生の歴史的変遷と薬学教育 6 年制改革の開始…………… 宮本 法子
3. 猫エイズ(FIV)の歴史…………… 石田 卓夫
4. 歯科治療と麻酔の歴史 — 絵画を中心に — …………… 別府 智司
5. 魯迅が「藤野先生」に書かなかったこと…………… 坂井 建雄

講演の要旨は日本医史学雑誌に掲載される予定であるので、聴講の印象を私見として簡単に記すので文責は筆者が負うものである。

- 1) 19 世紀中葉、欧州ドイツ語圏の大外科医として名を馳せたビルロートの看護書は佐伯理一郎の「普通看病学」として、わが国初期の看護婦養成の教科書となった。
- 2) 近年、医薬分業が広く実現されるようになり、医療技術の進歩と相俟って薬剤師の責任範囲が大きくなった。薬科大学の薬剤師養成コースが 6 年制となった背景を明治以来の薬事衛生に関する法規および制度の変遷との関係で論じた。
- 3) 猫にもエイズがあって、ネコ科の動物以外には感染しないが、日本の猫の陽性率は高く、屋外で生活することの多い“外猫”の感染が高いことが指摘された。
- 4) 歯科診療に於ける抜歯と麻酔に関する古代より近代までの絵画、図版が示された。
- 5) 明治 40 年(1907)に創立された東北帝国大学の医学部の前身校の仙台医学専門学校(明治 20 年設立の第二高等中学校から分離された医学部が母体)は明治 34 年に授業を開始した。このような組織の改革の時には教職員の異動を伴うことが多く、藤野巖九郎(明治 29 年、愛知医学校卒業)は解剖学の講師として着任し、明治 37 年教授に昇任したばかりのとき、清国人留学生の周樹人(1881 年生まれ、後に魯迅の筆名で日中両国で広く知られている)が入学してきた。

魯迅が日本時代の回想を語った文章は多くはないが、「藤野先生」という小品は「朝花夕拾」(1928 年刊)に収められており、日本語にも訳されている。

清国留学生に対して痒いところに手の届くような藤野教授の指導に恩を感じつつも、日露戦争中の仙台での医学生生活に魯迅はピリオドを打つに至った。教授の家によばれて、裏面に「惜別」と書かれた写真を貰ったことが記されている。藤野教授が魯迅のノートに毎週欠かさず筆を加えて指導したものを永久に記念となるように持ち帰ったが、このノートは帰国後に中国内での引っ越しのときに紛失してしまったと記して文章は終わっている。後に魯迅の出生地である紹興で発見されて、現在は北京の魯迅博物館の貴重品となっている。

坂井教授は東北大学と連絡をとり、魯迅在学の時代のカリキュラム(授業時間割り)、日本人在学生の遺したノートと魯迅のノートを調べて、当時の解剖学の教育が如何に行われたかを考察された。科学史における調査研究の進め方について、極めて示唆に富む講演であった。